

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

=ホームページにカラー版を掲載中!=

こぶし

第 143 号

発行責任者：横井正人

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

TEL:0138-54-2859 FAX:0138-84-8207

E-mail:kobusiza@wing.ocn.ne.jp

2016年 1月1日発行

編集：機関紙局

北海道函館市陣川町 122-172

年 2 回発行

http://kobusiza.sakura.ne.jp/

主な内容

- (1) 新年のごあいさつ
- (2) 創立 50 周年祝賀会
- (3) 創立 50 周年記念公演
- (4) 公演日程(1～3月)ほか



(金城公雄・絵)

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願い致します

二〇一六年 元旦

特定非営利活動法人 (NPO 法人)

民族歌舞団こぶし座社員一同

理事長 横井正人 (座員)

理事 中尾雄児 (座員)

理事 計良 徹 (座員)

監事 金城公雄

計良 正子 (座員)

横井ひとみ (座員)

松岡智恵美 (座員)

村田さつき (座員)

岩島 司

岡部 幸人

梶原康男

西東英範

志賀松 晋

志賀松智恵美

橋本かおり

馬場 雅

古川喜美子

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、創立五十周年にあたり、五月のソウル特別市国際フェスティバル「ソウルフレンドシップフェア」への参加、八月の函館市芸術ホールでの記念公演、十二月の後援会主催による祝賀会と、三つの大きな記念事業を展開し無事成功させる事が出来ました。

座員七名の小さなこぶし座がこのような記念事業を実現できましたのも、後援会を始めご協力頂いた皆さまのご支援の賜と、心から感謝申し上げます。

希望に胸を膨らませ夢を語り合い駆け巡った北海道、喜びと感動に胸ふるわせた公演の数々、困難に直面し押し潰されそうになりながら出口を求めて悩み抜いた日々、数え切れないほど多くの方々に出会い・励まされ・支えられ…どうにか辿り着いた五十年でした。

歩みを止めることなく、頑張り続けた五十年！

皆さんとともに喜び合えた幸せを感じています。

さて、今年のはあの東日本大震災から五年目を迎えます。

大津波で壊滅的な被害を受けた北三陸・野田村での公演の際、保育園児たちがお札にと歌ってくれた「ありがとうの花」の元気な歌声が、地元「神楽」の舞手として復興に励む友人の姿とともに、鮮やかに蘇って来るのです。

あの時、こぶし座に問われた社会的使命を今一度見つめ直しています。…ふるさとの鼓動・北に生きる心結んで…

これまでの蓄積と経験を基に、心と身体をいたわりながら、五十一年目からの新しい道を切り開いてまいります。

最後に、皆さまのご健康を祈念しつつ、一層のお力添えをお願いして新年のごあいさつと致します。

…新しい年の初めに…座員一同

創立五十周年祝賀会開かれる

― 師走の慌ただしい時期にもかかわらず、函館市内をはじめ

全道・全国から、百五十名にも及ぶ方々が駆けつけて下さいました。

創り支え合ってきた長い歩みを喜び合う、大きな節目の祝賀会でした…。

さる、十二月十三日(日)

午後一時より、こぶし座後援会主催「こぶし座創立五十周年祝賀会」が、函館国際ホテル・高砂の間に於いて行われました。

開会を告げる司会の後、「こぶし座応援隊」による『寄せ太鼓』の演奏。半てん姿の後援会長の馬場雅さんが主催者を代表し挨拶を行いました。

祝辞は、お一人目が函館市教育委員会生涯学習部次長・對馬公彦さん。こぶし座の活動を丁寧で紹介下さり、地元・函館における役割の大切さにもふれ、教育行政としての



期待を寄せて下さいました。お二人目は、民族歌舞団ほうねん座(仙台市)西野弘さん。

こぶし座と後援会からの支援募金に感謝の気持ちを述べ、震災で被災しながらも、自らの活動こそが人々を励ますと信念を持って向かっている状況等を報告してくれました。

次に、祝電・メッセージが披露されました。

そして、三浦会主である三浦基歌津さんの祝い唄と続き、祝賀会のムードを一気に華やかなものに彩って下さいました。

祝杯は、函館こども歌舞伎主宰の市川団四郎さんの発声です。前段、8月の記念公演にふれながら、芸の道を志すものにとって大切な心得を詳しく話して下さい、座員を大

いに励まして下さいました。

祝宴に入り、お祝いの演奏を和太鼓サークル「どんどこどん」が気持ちを込めて打ち鳴らしてくれました。

会場内には、50年の歴史を紹介する展示物やビデオが用意され、出席者が懇談しながら懐かしむ光景が見られました。また、団体等の関係者を紹介する場面では、記念公演の演目づくり、衣装や美術で尽力下さった方を含め二十五人の方が紹介されました。

こぶし座による「スライド」50枚で綴る、10分でわかる



50年の歩み」が上映され、共に活動を積み上げてきた歴史を懐かしく振り返っていました。

テーブルスピーチでは七人の方々が、自身の座との繋がりがやエピソードを語ってくれました。温かい労いの言葉と大きな励ましを受けて舞台上に並んだ座員たちが代表して理事長・横井正人が挨拶し「祝

二頭の獅子が舞い踊り―最後に『北に生きる・心結んで』の垂れ幕。会場に温かく大きな拍手が起りました。

祝賀会も終わりに近づき、初代後援会会長・畑中恒人氏による発声で乾杯が行われ、閉会となりました。

*

出席した一人ひとりの人生に『こぶし座』との深く温かな歴史が刻まれていることを振り返り、確かめ合い、共に喜び合い合う素敵な祝賀会でした。

【メッセージ】

紙面の関係上、

一部を紹介いたします

・創立50周年、ほんとうにおつかれさまと申し上げます。北海道内でも50年の歴史をもつ創造集団は少な

くありません。そのなかで歌舞団という特殊な体制を持続させてきた努力に、心から敬意を表します。どうか、これからも二代目の成功例として発展されることをお祈り致します。当日は、札幌から84歳の老体ながらはせさんじます!!

【演出家・鈴木喜三夫】

・50周年、誠におめでとうございます。常に社会の変容と対峙してきた「こぶし座」、嬉しいことは忘れやすく、辛く悲しいことは、乗り越えるのが大変なだけ忘れない!!

そして乗り越えたら、強い心が残る。「こぶし座」の皆さんの笑顔は強い心が生み出したものだと思えます。子供達が、働く仲間が、高齢者の皆

がいつも「こぶし座」の皆さんを待っています。60年、70年、100年と続きますように祈っています。

【帯広音楽鑑賞協会】

・創立50周年おめでとうございます。リレー公演会では、大変お世話になりました。出席できないのが残念ですが、これからもよろしくお祈りします。

【連合北海道日高地域協議会】

・地域の文化の掘り起こしと普及にご尽力されたこぶし座皆様にご敬意を表します。当地松山におかれまして、子育てと教育の現場に意義深く価値ある文化の真髄を伝えてくださいましたこと、本当にありがとうございます。

文化活動講座の歴史と伝統はまさにこぶし座に支えられたものでした。ここに深く感謝申し上げます。ここに深く感謝の祝賀といたします。

【檜山教職員組合 委員長 石橋英敏】

・『北に、生きる心むすんで』発刊から、もう10年の歴史をきざまれてきたのですね。こぶし座さん50年の歩みに心より敬意を抱いております。当日は、あいにく出席が叶いませんが、益々のご発展を祈念申し上げます。

【株式会社アイワード 奥山敏康】

(順不同・敬称略)



平成27年度 市民舞台芸術奨励事業

民族歌舞団こぶし座

…創立50周年記念公演…

溢れんばかりのたくさんの参加者に支えられ、感謝の気持ちを精一杯込めて、舞い・謡い・語り伝えることができました。私たちの活動を、そして生き方を受けとめ励まし応援し続けて下さる方々に心から感謝しております。本当にありがとうございました。



「傘踊り」の一場面

・ 50周年、本当におめでとうございます!! 村田さん、獅子舞すごいですね! あんな体力技を女性がやれるなんて、すごすぎます! アイヌの楽器演奏も生ではじめて見る事ができましたが、美しかったです。浜の母っちゃんの話はとても面白く、それでいて反戦や反原発の思いが語られていて、とても共感しました。何よりも、座員皆さんの笑顔に元気をもらいました。これからも共に頑張りましょう!!

【八雲町・富田直和】



民謡「道南口説節」

・ 美しく暖かい公演でした。50周年、沢山の努力があった事と思います。おめでとうございます。

【函館市・木村美保子】

【岩手県一関市・千葉徳治】

・ アイヌ民族の楽器演奏を初めて聞かせてもらったし、ギターにた楽器も初めて見た。寿獅子が観客の頭をかじり福を招くこういがうれしかった。観客の多さに驚かされました。流石に50年の歴史の深さですね。おはなしはおもしろかったです。

【室蘭市・吉田義彦】

・ 開演前から人がならびホールが満席となったことに、わがことの様子がいつぱいになりました。50年間まきつづけた種が、この日につながったんですね。わずかな力でも、時間をかければ、すごい力積となると「こぶし座」の皆さんからいつも学ばれます。民族の歴史とつながっているという誇りがあるからですね。友情出演の皆さんの、ストリートに届く太鼓の響きに手が赤くなるほど拍手しました。そして、座の皆さんの日々の精進から生まれた芸の力に、10年分の元気を頂きました。(笑) 節目の舞台に来て良かったです。ありがとうございました。

励まされ
支えられて半世紀…
- 700名の観客が集った
節目の舞台 -
アンケートの中から



おはなし〜浜の母っちゃんは、津軽の嫁こ〜



ウボボ(座り歌)

・ 初めて見ました。北海道ならではのすばらしいグループだと思いました。これからもがんばって下さいね。

【函館市・岡村直子】

【60代・無記名】

・ 日本人である事に感謝している。体じゅうの血が騒ぎ出している様です。昔からの伝統芸能をこれからも守り、そしてあさひ子供会の子供達を育てて続けて下さい。素晴らしい舞台でした。来て良かったです。

【函館市・伏木政義】

・ 何回も公演をみていますが、傘踊り、神楽など初見のものも多く、今日のために演目で努力した跡がみえて楽しかったです。松前神楽の音を聞きながら涙が出てきたのは何でしょうか。くり返される単調なリズムの中に「暖かい」ものを感じたのは、それこそ民族の心なのでしょう。民俗といった方がいいのかも。子どもたちの演出も、こぶしの社会的在り方が現れていてよい構成だったと思います。最後から一つ前の「おはなし」は大変面白いものでした。語りが会場の人たちを含めた「お茶の間の話し」になっているのは不思議な思いがしました。途中でもう一つ二つ歌を入れても良かったのかも。

・ 子供達の太鼓演奏は感動的でした。団員が増えることをいのつています。
餅つきー良かった。
【70代・無記名】



「江差のもちつきばやし」



創立50周年記念公演…一同、力ひとつに頑張りました!



第4回アイヌ文化交流の集い 函館 イランカラフテ
主催/特定非営利活動法人道東マコヒリカの会
9月/函館市・アイヌ文化交流の集い
帯広カムイトウウボボ保存会の皆さん



各地でお世話下さった
たくさんの方々に、
座員一同、心より
感謝しております！！



7月/蘭越町・小学校公演
今年もお世話になりました！



11月/美深町幼児センター
元気に手を上げてつまれに出てきた
吉田航生君(実は、座員の孫…)

思い出アルバム



7月/若手県野田村・公演後に…
教育委員会スタッフの皆さんと



6月/連合北海道日高地区協議会主催
戦後70年平和プロジェクト
「こぶし座」リレー公演会



11月/札幌市・白石地域公演を終えて



11月/留萌市・萌寿園にて

【1～3月の公演計画】

《特別公演》

- 1月
- 2(土) 棒二森屋
ポールスター

《保育園・幼稚園公演》

- 1月
- 12(火) 函館・青い鳥保育園
- 13(水) 函館・つくしの子保育園
- 14(木) 七飯・ほんちょう保育園
- 15(金) 函館・つぐみ保育園
- 2月
- 4(木) 函館・亀田港保育園
- 5(金) 八雲・国の子保育園
- 8(月) 札幌・柏葉保育園
札幌・風の子保育園
- 9(火) 札幌・はこぶね保育園
札幌・菊水上町保育園
- 10(水) 札幌・しせいかん保育園
札幌・くまの子保育園

- 12(水) 札幌・川沿保育園
- 15(月) 音更・宝来保育園
音更・鈴蘭保育園
- 16(火) 帯広・おひさま保育園
音更・木野南保育園
- 18(木) 札幌・桑園保育所
- 19(金) 札幌・北の星白石保育園

《一般公演》 予定段階も含まます 3月

- 2(水) 旭川市・春光台地域
- 3(木) 旭川市・東旭川地域
- 5(土) 旭川市・春光末広地域
- 6(日) 旭川市・神楽岡地域
- 9(水) 旭川市・西神楽地域
- 12(土) 奈井江町
- 13(日) 赤平市

※公演詳細につきましては、
本部事務局… 0138-54-2859 へ
お問い合わせ下さい！

伝言板

＊制作二号車を更新！
メンテナンスを施してはいるものの、17万キロ走破は、予想以上にダメージが…。
トヨペットさんのサービスで、こぶし座初めてのカーナビ搭載車となりました。迷いながらの感ナビ走行解消も、経費減に繋がると座員みんなの期待大！！
これで迷わず目標達成！！

＊制作部用PCを更新。
業務での酷使が原因らしくハード(?)がダウン！
7、8…と遂には10に…どこまでアップ続くやら。既にこっちは、ギブアップ！
＊本部敷地内の斜面取り付け道路(再生材利用の舗装が経年劣化…。日頃から、本部の住環境メンテナンスに気を配って下さる、マコト建設の補修協力で見事復活！
感謝感激ありがたや…。

『五十年の舞台を 道内各地へ』

今年、創立記念公演の舞台目を道内各地の皆さんへ少しでもお伝えしたい…と考えています。
まずは、江差町と札幌市で6月に実施したいと計画しています。
これから、皆様のところへお願いいたします。
是非、お力添え下さい！！

〔編集後記〕

雪の無い函館、小春日和？に誘われて、ゴジュウカラやヤマガラなどの野鳥が餌台に姿を現しました。
「冬眠できない熊さんはどうしているのかなー」などと、のん気なことを言っていたら、「皆さんの居ない時に、また出たんですよ！」と、後援会事務を手伝ってくれている良子さんのひと声。

パソコンに向かいボーツとしている私の横で、パソコンに向かいテキパキと名簿整理をこなしています。
新年号が皆さんの手に届くのも彼女のお陰…。
今年も皆さんに助けられながらの一年になりそうです。どうぞ宜しくお願い！！

(正子)